ビジュアルデザイン3年

学校番号	3010

令和5年度　　美術　　科

教科	美術	科目	ビジュアルデザイン	単位数	5 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1担当者からのメッセージ(学習方法等)

2年生に絵画(日本画)・絵画(洋画)・彫刻・ビジュアルデザインの4コースより選択し、3年生も同じコースを継続。2年5単位、3年5単位の計10単位
・一斉授業
・個人制作
・完成までの取り組み・技法の理解を重視

履修条件
なし

2学習の到達目標

ビジュアルデザインに関する学習を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(１) 視覚的な伝達効果について理解を深めるとともに，専門的な技能を身に付けるようにする。
(２) 表現及び鑑賞に関する創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。
(３) ビジュアルデザインの可能性を追求する態度を養う。

3学習評価 評価 規準 と評価方法

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	デザイン作品への興味関心を持ち、見学や合評などに積極的に取り組んでいる。 幅広く表現の分野や社会の動向に目を向け自らのテーマ設定に役立て、創造的なデザインの活動を追求している。	課題の内容への理解を深めるための資料収集や、アイデアを検討するための十分なスケッチや表現の実験を行い、創意工夫したアイデアを選んでいる。 本制作において、客観的な視点で作品のクオリティを追求している。	デザインに関する感性と美意識を磨き個性豊かなデザインの能力の向上を追求している。	デザイン作品の成り立ちや素材、技法についての知識の習得と活用に取り組んでいる。
評価方法	学習状況の観察 課題提出状況 作品制作状況 発表活動の状況	学習状況の観察 課題提出状況 作品制作状況 発表活動の状況	学習状況の観察 課題提出状況 作品制作状況 発表活動の状況	学習状況の観察 課題提出状況 作品制作状況 発表活動の状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	基礎デザイン	デザインを次の各項目を切り口にそれぞれの単元で鑑賞・実習を通じてデザイン応用を学ぶ。 ア　文字について イ　構成について ウ　五感について	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:、課題に対して自己テーマ(自己課題)を設定し、解決に向けた創意工夫と実験に積極的に取り組んだか。 b:デザインを次の学習内容ア～ウを理解し、資料収集や、アイデアを検討するための十分なスケッチや表現の実験を行い、創意工夫したアイデアを選んでいるか。 c:デザイン応用実習での表現手法の獲得に努めたか。 d:れぞれの単元で鑑賞による考察を十分に行えたか。	学習状況の観察 課題提出状況 作品制作状況 発表活動の状況
2	基礎デザイン	エ　色彩について オ　視点・時間について カ　空間・形態について	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:、課題に対して自己テーマ(自己課題)を設定し、解決に向けた創意工夫と実験に積極的に取り組んだか。 b:デザインを次の学習内容ア～ウを理解し、資料収集や、アイデアを検討するための十分なスケッチや表現の実験を行い、創意工夫したアイデアを選んでいるか。 c:デザイン応用実習での表現手法の獲得に努めたか。 d:れぞれの単元で鑑賞による考察を十分に行えたか。	学習状況の観察 課題提出状況 作品制作状況 発表活動の状況
3	研究課題	キ　研究課題	○	○	○	○	a:、課題に対して自己テーマ(自己課題)を設定し、解決に向けた創意工夫と実験に積極的に取り組んだか。 b:デザインを次の学習内容ア～ウを理解し、資料収集や、アイデアを検討するための十分なスケッチや表現の実験を行い、創意工夫したアイデアを選んでいるか。 c:デザイン応用実習での表現手法の獲得に努めたか。 d:れぞれの単元で鑑賞による考察を十分に行えたか。	学習状況の観察 課題提出状況 作品制作状況 発表活動の状況

※　表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c:技能　　d: 知識・理解

※　年間指導計画(例)作成上の留意点
・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について〇を付けている。